

# 2200日の物語 ～芝根の名のもとに～

第48話 (R04.03.24)

## ～ 卒業式 式辞 ～

本日、ここに令和3年度玉村町立芝根小学校 第67回卒業式を、PTA会長様をはじめ、ご来賓の皆様のお出席を賜り、コロナ禍にもかかわらず、このように挙行できますことに、深く感謝し、心から御礼申し上げます。

37名の卒業生のみなさん、ご卒業、おめでとうございます。教職員一同、みなさんの門出を心からお祝い申し上げます。

さて、卒業生のみなさんにとって、小学校の6年間は、どのような物語だったでしょうか。G R e e e Nの曲「僕らの物語」の歌詞とともに、ここまでの物語を一緒に振り返りましょう。

まず、「僕の名前を付けた願いや理由って何。その通りの僕かな。理想通り生きられたら、どれだけ楽だろうな。」と歌われています。もちろん、理想通りに生きられている人は、ほとんどいないかもしれません。でも、みなさんは、生まれてから、笑ったり、立って歩けるようになったり、言葉を話したりすることで、家族に大きな喜びを与えてきました。そして、6年を過ごして、大きな希望を抱えて小学校に入学しました。

次に、「これまでの傍観者は、これからの冒険者に」の歌詞が示すように、さまざまな活動では、ただ観ている段階から、友だちのまねをしながら、そして自分なりに考えて真剣に取り組む段階へと成長しました。失敗を恐れずに、挑戦したことのひとつひとつが自分の経験となり、自分の未来を創ったと確信しています。

小学校の6年間は、うれしいこと、感動すること、悩むこと、いろいろなことがありました。悲しくても泣きたくても、必ず明日は来るのです。このような数々の悩みや悲しみも乗り越えたからこそ、素敵な今日があるのです。

そして、次の言葉を送ります。「悔しくたって辛くたって、夢は必ず叶う。夢のためであれば、何ひとつ譲る必要なんてない。強くなれると、何度も自分に言い聞かせ、夢叶える冒険者として、素敵な人生という旅を続けてください。」

最後になりますが、深い愛情でお子様を見守り、支え続けた保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。これからも、お子様の健やかな成長に向けて、今後もみなさまの変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

### 保護者のみなさまへ

私たち芝根小スタッフは、素晴らしい児童と出会えて、最高の時間を過ごすことができました。6年間、いろいろな面で協力していただき、本当にありがとうございました。